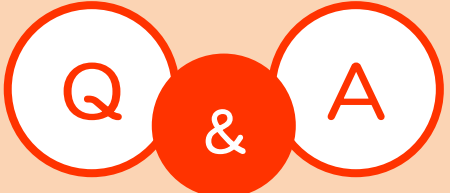


熊本中央信用金庫 半期ディスクロージャー



中央しんきんの令和3年9月末仮決算状況について

形式でお答えします。

中央しんきんのキャラクターたちをご紹介します！



チューちゃん



そなえちゃん



まなぶ君

Q

1. 金融機関の安全性や健全性の指標である自己資本比率の状況はどうか？

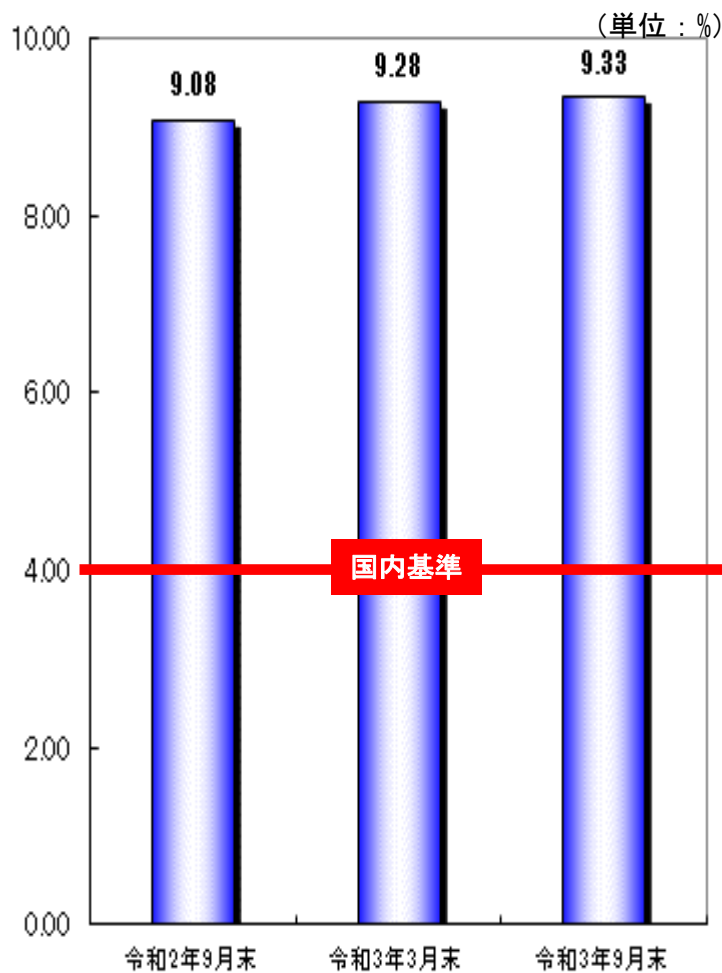


A

中央しんきんの自己資本比率は9.33%と国内基準の4%を上回っています。



●自己資本比率の推移



(単位：百万円)

	令和3年3月末	令和3年9月末
コア資本に係る基礎項目 (A)	7,829	8,047
コア資本に係る調整項目 (B)	165	173
自己資本額 (A) - (B) (C)	7,664	7,873
リスク・アセット等計 (D)	82,577	84,317

(単位：%)

単体自己資本比率 (C)/(D)	9.28	9.33
------------------	------	------

●自己資本比率の算出方法

出資金や内部留保などの自己資本の額を「分子」として、貸出金などの各種の資産をリスク・ウェイトによって調整した信用リスク・アセットとオペレーショナルリスク相当額を8%で割って得た額の合計を「分母」として算出されます。

$$\text{自己資本比率 (9.33\%)} = \frac{\text{自己資本の額 } 7,873 \text{ 百万円}}{\text{信用リスク・アセット (79,078 百万円)} + \text{オペレーショナル・リスク相当額} \div 8\% (5,238 \text{ 百万円})} \times 100$$

用語解説

●自己資本比率

自己資本比率は、金融機関の安全性や健全性を図る指標の1つで、貸出金や有価証券などの総資産（リスク・アセット）に対する自己資本の割合のことです。国内のみで営業している金融機関に求められる基準は4%とされています。

国内基準	日本国内のみで営業している金融機関	4%
------	-------------------	----

●オペレーショナルリスク

オペレーショナルリスクとは、事務事故、システム障害、不正行為等で損失が生じるリスクのことです。なお、算定にあたって当金庫は、基礎的手法を採用しています。その計算方法は次のとおりです。

$$\text{オペレーショナルリスク相当額} = \frac{\text{粗利益 (直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

Q

2. 不良債権の状況はどうなっていますか？



A

中央しんきんでは、貸出金等の資産について厳格な基準による査定を行い、これを基に不良債権の償却・引当を実施して、より一層の資産の健全化を進めております。また、不良債権については、貸倒引当金及び担保・保証等で十分にカバーされています。



●金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

	令和3年3月末	令和3年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (A)	1,517	1,353
危険債権 (B)	1,274	1,292
要管理債権 (C)	27	81
合計 (A)+(B)+(C)=(D)	2,820	2,727
貸倒引当金 (E)	1,238	1,111
担保・保証等 (F)	1,271	1,272
保全額合計 (E)+(F)=(G)	2,509	2,383
保全率 (D)/(G)	88.97%	87.39%

※「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

（注）

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権をいいます。

Q

3. 有価証券の運用はどうですか？



A

安全性・収益性・流動性を重視しながら特定の種別や銘柄に偏らない分散投資に努めております。



●有価証券の時価情報

■その他有価証券で時価のあるもの

（単位：百万円）

区分	令和3年3月末				令和3年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
株式	88	▲0	-	0	90	1	1	-
債券	33,074	382	408	26	32,451	337	359	22
その他	11,022	51	290	239	12,692	122	346	223
合計	44,185	433	699	265	45,235	461	708	246

（注）

1. 令和3年9月末の「評価差額」は、令和3年9月末時点の帳簿価格（償却原価適用前）と時価との差額を計上しております。
2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりです。

■満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるもの

（単位：百万円）

	令和3年3月末				令和3年9月末			
	帳簿価格	含み損益	うち益	うち損	帳簿価格	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	1,492	▲7	6	14	1,476	▲23	4	28
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,492	▲7	6	14	1,476	▲23	4	28

Q

4. 収益状況はどうなっていますか？



A

令和3年9月末での収益の状況は下表のとおりです。安定した収益を確保しています。



(単位:百万円)

	令和2年9月末	令和3年9月末
経常収益	2,133	1,688
業務純益	288	332
コア業務純益	283	343
経常利益	158	262
当期純利益	137	190

(注) 信用金庫は年1回の決算となっており、左記計数については令和3年9月末時点で試算した場合の概数を掲載しております。よって、年度末決算に準じて作成しておりますが、一部簡便な方法で集計を行っておりますので、年度末の決算とは連続しておりません。

Q

5. 預金・貸出金の状況はどうなっていますか？



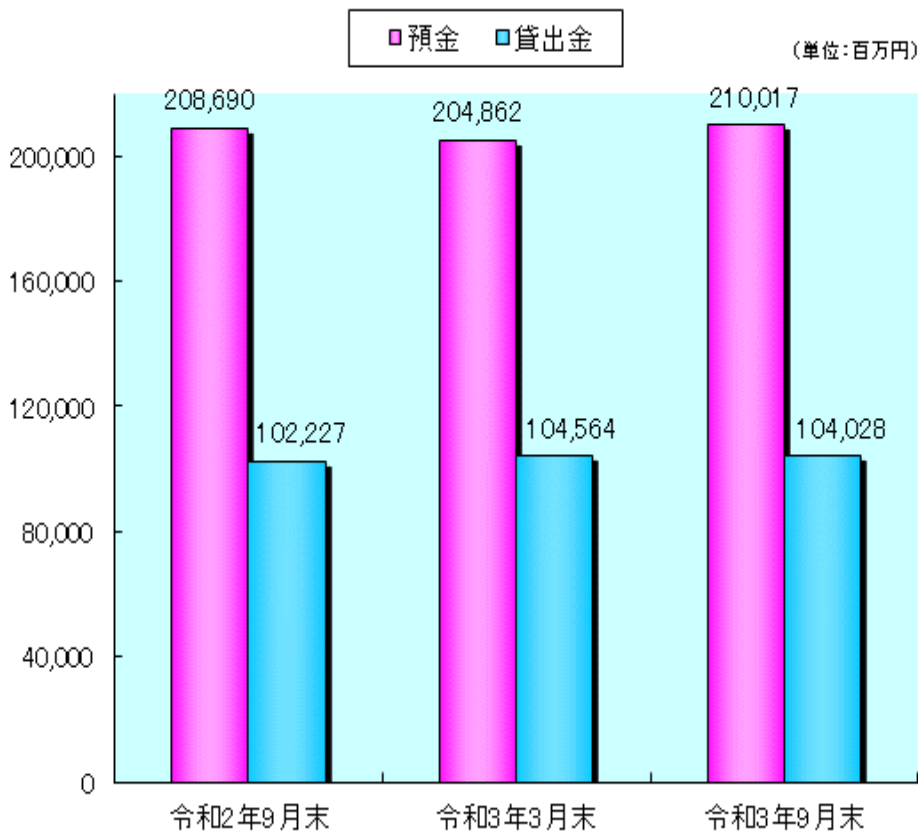
A

預金・貸出金の残高は、堅調に推移しております。



●預金・貸出金残高の推移

●貸出金の業種別内訳



(単位:百万円、%)

業種区分	令和3年3月末		令和3年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	3,311	3.16	3,392	3.26
農業、林業	863	0.82	868	0.83
漁業	70	0.06	62	0.05
鉱業、採石業、砂利採取業	425	0.40	466	0.44
建設業	9,938	9.50	9,706	9.33
電気・ガス・熱供給・水道業	341	0.32	370	0.35
情報通信業	292	0.27	284	0.27
運輸業、郵便業	1,382	1.32	1,354	1.30
卸売業、小売業	8,534	8.16	8,232	7.91
金融業、保険業	659	0.63	616	0.59
不動産業	26,389	25.23	26,640	25.60
物品賃貸業	992	0.94	953	0.91
学術研究、専門・技術サービス業	948	0.90	894	0.85
宿泊業	508	0.48	456	0.43
飲食業	2,389	2.28	2,326	2.23
生活関連サービス業、娯楽業	1,719	1.64	1,691	1.62
教育、学習支援業	272	0.26	214	0.20
医療、福祉	3,726	3.56	3,445	3.31
その他のサービス	3,025	2.89	3,311	3.18
小計	65,793	62.92	65,290	62.76
地方公共団体	5,169	4.94	4,739	4.55
個人	33,601	32.13	33,999	32.68
合計	104,564	100.00	104,028	100.00

Q

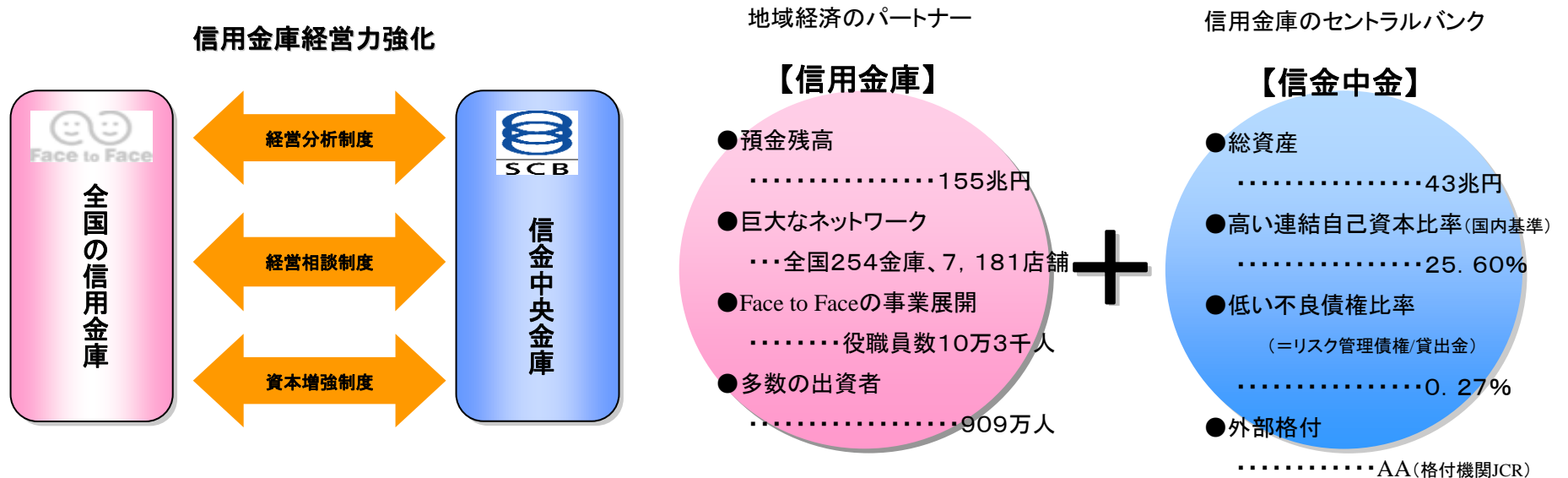
6. 信用金庫業界のセントラルバンクである「信金中央金庫」について教えてください。



A

信用金庫の中央機関として「信金中央金庫」があります。信用金庫業界では、平成13年4月から「信用金庫経営力強化制度」を創設し、「信金中央金庫」が会員信用金庫の経営分析、経営相談、資本増強などで信用金庫を強力にサポートしております。このように全国に広がる信用金庫と「信金中央金庫」は、固い絆で結ばれ、お互いを強化し合い日本の金融業界の中において確固たる地位を占めております。

※下記計数は令和3年3月末現在です。



Q

7. 最近の中央しんきんの主な出来ごとについて教えてください。



A

中央しんきんの令和3年4月～令和3年9月までの主な出来ごとをご紹介します。



## トピックス

- 4月
  - ・熊本中央信用金庫SDGs宣言に基づきグリーンボンド投資を開始
  - ・「ひとよしくま熱中小学校」オープンスクールへの参画
- 6月
  - ・「信用金庫の日」社会貢献活動
  - ・「くまもと復興販路拡大応援プロジェクト」認定商品審査会を開催
- 7月
  - ・新型コロナウイルス対策支援ファンド「しんきんの礎」への投資を実施
  - ・しんきん地域創生ネットワーク連携による中小事業者の販路拡大支援開始
- 8月
  - ・ECサイト「くまもと復興応援マルシェ」開催支援
  - ・新しいテレビCMを制作
  - ・「熊本県SDGs登録制度」に第一期事業者として登録決定
- 9月
  - ・「くまもと復興販路拡大応援プロジェクト」商談会開催



“熊本県SDGs登録制度”登録決定



“くまもと復興販路拡大応援プロジェクト”認定商品審査会を開催



くまもと復興応援マルシェ ECサイトオープン

“くまもと復興応援マルシェ”ECサイト



新しいテレビCMを制作

## 地域活性化・お取引先支援の取組みについて



熊本中央信用金庫では、事業者の皆様のお困りのことについて、各種経営支援メニューで課題解決のお手伝いをしております。ぜひ、当金庫担当者までご相談ください。

### 経営相談会の開催

(熊本県よろず支援拠点)

経済産業省、中小企業庁が全国に設置する経営相談所の専門家が、中小規模事業所の売上拡大・経営改善など、経営上のあらゆる悩みのご相談を伺い、適切な解決方法を提案する取組みです。



### よい仕事おこしネットワーク

(全国の信用金庫お取引先とお取引先をつなぐ取組み)

- ・ビジネスマッチング
- ・バイヤー商談申込
- ・ECサイトでの販売
- ・商談会案内



### 信金中央金庫

- ・全国の信用金庫とのネットワーク
- ・豊富なノウハウ
- ・各種カタログギフトへの掲載(要選考)
- ・バイヤー紹介 など

### 補助金申請支援

- ・ものづくり補助金(㈱工ファンドエムと連携)
- ・IT導入補助金(㈱リコージャパンと連携)



### スキルシフト

副業人材の求人

課題解決のスキルを持つ都市部の人材を副業人材として、自社へ招き入れる取組みで、スキルシフト社の仕組みを活用。一般的な雇用よりも、安価な賃金で求人が可能です。※求人掲載料は有料

### 熊本県プロフェッショナル人材戦略拠点

経営者の右腕や後継者、経営企画、新製品開発等に資する人材、いわゆる「プロフェッショナル人材(プロ人材)」の採用を支援する取組みです。



### BASE (ベース)

ネットショップ活用による販路開拓支援

信金中央金庫を通じたショッピングアプリ「BASE (ベース)」を運営するBASE(株)との連携により、事業所取引先へのネットショップ出店を支援する取組みです。

### 事業承継支援

【連携先】熊本県事業引継ぎ支援センター株式会社M&Aの窓口 信金キャピタル株式会社 株式会社日本M&Aセンター

ご紹介している取組みは一部のもので、創業、経営改善、その他事業経営のことでの困りやのことやお悩みのことがありましたら当金庫までお気軽にご相談ください。

この半期レポートは、仮決算に基づき当金庫が自主的に開示する数値であり、監査法人の監査を受けたものではありません。



## 熊本中央信用金庫

〒862-0973 熊本市中央区大江本町1番6号  
☎096(366)1111(代)  
ホームページアドレス <http://www.kumachu.jp/>